

湛水被害に強い農地だからこそ新規就農者を呼び込める！！【静岡県伊豆の国市】

いずのくにし

国土強靱化

一億総活躍

地方創生

【工夫のポイント】

- 狩野川下流に位置する本地区は、低平地であることに加え、流域内の開発が進み、**湛水被害が常習化**。
- 湛水被害を未然に防止するために**排水機場を設置**し、流域の開発による影響を抑えるため、**適時・適切な補修・補強工事を順次実施**。
- 水稻から高収益作物として、**ミニトマト等の施設栽培に転換、積極的に新規就農者を受け入れ**。

【取組地域の概要】

いずのくにし

○位置 静岡県伊豆の国市

静岡県



にらやま
韮山地区

- 主要作物
 - ・水稻、イチゴ、ミニトマト 等
- 主要施設
 - ・排水機場 5カ所（受益面積471ha）
- 主な支援施策
 - ・湛水防除事業（S46～H11、H13～H29）
 - ・農業水路等長寿命化
 - ・防災減災事業（H27～H31）

農地の湛水被害を防止

排水機場の設置により、豪雨時に強制排水が可能となり、農業生産物・農業施設の**湛水被害が防止**され、また、地域の安全性を確保。その後も、**適時・適切な補修・補強工事を順次実施**。



毘沙門排水機場

（参考）費用対効果

68億円 < 130億円
整備費用 被害想定による効果額

基盤整備
（S46年～H31年）

【整備前】

豪雨の度に地域内が湛水し、水稻、イチゴ等の**農業生産物被害が発生**。



湛水の状況（H10年8月台風4号）



水没した温室（H10年8月）

水稻から施設栽培へ転換

- 豪雨時の**湛水被害が防止された**ことから水稻から高収益を目指した**ミニトマトやイチゴの施設栽培へ転換**。



水田地帯に展開している温室



温室内のイチゴ（高設栽培）

安全性を高め、新規就農者を呼び込む

- 高齢化による離農者の増加に対応するため、ミニトマト栽培の**新規就農者を、地域が一丸となって積極的に受け入れ**。



出荷されるミニトマト



新規就農者のトマト温室

新規就農者が増加し、地域を支える存在へ！

- **湛水被害に強い農地が確保されたことから、安心して就農する人が増加**。新規就農者は年々増加し、特に、ミニトマト生産者46人中43人が新規就農者。
- 管内JAの果菜類販売額は、事業実施時から約**6倍に増加**（その約8割が新規就農者による）。
- JAの部会がH25に**日本農業賞の大賞を受賞**。



新規就農者

JA伊豆の国 果菜類の新規就農者と販売額

